



豪雪

県土に襲来

表紙／国鉄がマヒ状態になり、生活必需品運搬の生命線になった北陸自動車道

上／記録的な豪雪で列車運行不能となった高山本線

下／政府豪雪対策本部調査団（団長・原国土庁長官）に対し、対策を講じるよう陳情する中沖富山県知事

左上／白い石灰で一面をおおわれた室牧ダム
左下／4倍に迫る積雪で孤立した集落（利賀村）



豪雪に関する記事は14～17ページにも掲載しています。

2月号●もくじ

豪雪 県土に襲来	表 1～2・14～17
北陸新幹線着工へ大きく前進	
着工可能な予算措置を決定	1～5
ことは国際障害者年	
「完全参加と平等」に向けて	6～9
八尾中核工業団地が始動	10～11
市町村民話②立山町	
お婆さんと泥棒	12～13

水田利用再編第2期	14～16
県人口は110万3,459人	
— 国勢調査結果	21
トピックス・県政の動き・お知らせ	22～23
家庭の省エネルギーここがポイント	24
県有美術品紹介	表 3
雪おろしと住まいの点検	表 4

豪雪 県土に襲来



新聞のトップ見出しは連日雪雪雪…

歩道を背丈以上の雪に占領され
やむを得ず危険な車道へと…



手塩にかけて守り育ててきた杉も根こそぎ押し倒された

高山線運休で朝のホームは除雪を急ぐ人夫の姿が見られない



電力県富山の象徴ともいべき高压鉄塔は 雪けむりを上げながら崩れ落ちた



雪の重みに耐えかね倉庫は無残にも押しつぶされた



想像を絶する雪の破壊力に 大木はその太い幹をへし折られた



富山駅に続々と集まる帰省客らは 北陸・高山両線ストップの
はり紙に右往左往

県民総ぐるみで立ち向かう

三八豪雪の試練いかして克服へ

三八より降雪早く 積雪多く

このあとの降雪が不安

夏は冷害、冬は雪害。予想はしたもの、こんなに早く、しかも連日の降雪で積雪量は三八豪雪時を上回るということまで…

十二月二十八日、帰省客を迎えようとする北陸は、この冬一番の大雪に見舞われ、各地で道路や鉄道が不通、速度制限となり、大雪警報も発令された。この雪が根雪となり、ついに十八年前の昭和三十八年以來の豪雪の幕開けとなった。

今冬の大雪について富山地方気象台では、次のように解説しています。

「年末ころから北半球の上空約五千五百位の北極をとりまく西

風(偏西風)の流れが極東、北米東部、及びヨーロッパの三方向に気圧の谷が伸びた波型の流れいわゆる「三波数循環」の形を示すようになった。

この流れは持続性が強く、また、日本付近が大雪となりやすい特徴があり、現在も続いている。三八豪雪の基調パターンもこの形であった。

雪の降りかたでは三八豪雪は一月中旬ごろから約十日間ほとんど連日、大雪が続いたのに対し、今冬は雪の降り始めが早く、また、年末年始、一月中旬、というように約一週間くらいの大雪の周期性が見られることが特徴としてあげられる。

さらに、今冬は追い打ちの寒波も予想されており、二月前半までは大雪のおそれがあるとの子報から、三八以上の豪雪記録となるのではないかと心配されます。

こうした気象条件の中で、不とう不屈の精神で、根ばり強く郷土愛に満ちた富山県民は、官民一体となって、三八豪雪の時



子どもらの通学路を確保しようと 夜にもめげず けん命にスコップをにぎるPTAのお母さん



生活道路の除雪は地域で協力し合って



県下各地でスノーダンプは大いに威力を発揮した
雨降りにはとても便利なアーケードも雪下ろしにはひと苦労



子どもらは車の屋根より高い雪を踏みしめて始業式へと向かう



連日連夜除雪車は休む間もなく出勤し
基幹道路の確保にあたった



県内除雪計画道路は6,427*。
除雪車は官民あわせて2,011台がフル回転



出動要請を受けた自衛隊の昼夜わたがめ
協力に県民は励まされた(富山新聞社提供)



ご主人が動めに出ている間 けん命に雪下ろしをする婦人が各地で見かけられた



トラックに満載された雪は川へ
しかしこも捨てる余地がないほど積っている

の豪雪に力がかかる地域ぐるみの助成措置を講じました。
活力ある富山県の建設のために、一致協力、地域連帯の精神を発揮されて、豪雪を克服されんことを切望します。
豪雪関係の詳細は次号でお知らせすることにし、今回は写真にみる「県民総ぐるみで豪雪を克服」を登載しました。

の試練を生かして、この豪雪克服に日夜懸命の努力を続けています。
非常事態を憂慮した県は、一月六日富山県雪害対策本部を設置し、県民の生活に支障がきたさないよう、万全の策をとるよう職員を配備し、一刻深まる雪への不安に対処しました。
中沖富山県知事(雪害対策本部長)は、一月十四日次のような談話を発表し、地域総ぐるみの除排雪運動を提唱しました。
三十八年を上回る豪雪となり、県民のみなさまの日夜に分かたぬ除排雪への努力に感謝申し上げます。
県は一月六日雪害対策本部を設置し、保有する機能を総動員して、みなさんの生活を守るための体制をとり、でき得る限りの措置を講じてきました。
しかし、今後の気象、降雪の状況を考えて、さらに心を引き締めて臨む必要があります。
ここに、県内あげての「地域ぐるみ除排雪運動」の組織的かつ計画的な展開を提唱し、今冬の